

平成 22 年 1 月 28 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動や個人消費の一部に持ち直しの動きがみられるものの、雇用情勢が低迷し、観光関連も低調に推移するなど、全体として厳しい状態が続いている。

生産活動は、食品関連が伸び悩んだが、電子部品関連が回復基調にある。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額は前年を下回ったが、新車（乗用車・軽自動車）販売台数が前年を上回った。投資関連では、民間建築工事が前年を上回ったが、低い水準にあり、また、住宅着工と公共工事は減少し、低調に推移した。その間、観光入り込み客数は前年を下回った。

【生産活動】 ... 一部に持ち直し

電子部品関連は、IC 生産が前年の水準には及ばないものの、回復基調にある。

12 月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向け出荷が前年を上回ったが、民間工事向けは前年を下回り、全体で前年比 1.4% 減となった。

12 月の**紙パルプ**生産は、前年比 26.8% 増と 13 カ月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

焼酎の生産は伸び悩み、出荷は減少傾向が続いている。

かつお節生産は、前年を上回る水準で推移している。

【畜産関連】 ... 低調

肉用牛（和牛）の枝肉相場が低調に推移し、子牛価格は前年を下回っている。また、豚肉相場も低調に推移し、ブロイラー相場は上昇するも前年の水準に及ばない。一方、鶏卵相場は前年並みで推移。

【消費関連】 ... 一部に持ち直し

11月の大型小売店（百貨店＋スーパー）販売は、衣料品、食料品ともに前年を下回り、全体では前年比12.8%減と7カ月連続で前年を下回った。

12月の乗用車新車販売台数は、エコカー減税や新車購入補助金の効果により、52.7%増と5カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車が77.8%増、小型車が38.3%増となった。また、軽自動車は1.4%増と14カ月ぶりに前年を上回った。

【観光関連】 ... 低調

12月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、前年比11.9%減と11カ月連続で前年を下回った。「篤姫」効果の反動、新型インフルエンザの流行などから、3地区すべてで減少した。加えて、種子島・屋久島地区も引き続き前年を下回った。

また、12月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの施設で前年を下回った。

【投資関連】 ... 低調

12月の公共工事（西日本建設業保証調べ）は、件数が前年を上回ったが、請負金額は前年を下回った。

11月の民間建築工事は、棟数、床面積、工事費予定額のすべてにおいて13カ月ぶりに前年を上回ったが、低い水準にある。

11月の新設住宅着工戸数は、持家が9カ月ぶりに前年を上回ったが、貸家と分譲で前年を下回り、全体で前年比13.8%減と12カ月連続で前年を下回った。

12月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 低調

11月の輸出額は、タイヤ・チューブが前年を上回ったが、半導体等電子部品などが減少となったことにより、全体で前年比40.3%減と9カ月連続で前年を下回った。輸入額は、穀物及び同調製品が減少となったが、原油及び粗油の増加により、全体で前年比14.3%増と13カ月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】 ... 横ばい

11月の有効求人倍率は、前月を0.01ポイント上回る0.37倍となったものの、雇用情勢は依然として厳しい状態が続いている。

【金融情勢】 ... 低調

資金需要は、企業の緊急保証制度等を利用した運転資金が一巡し、設備資金は弱含んでいる。

【企業倒産】 ... 前年を下回る

12月の企業倒産は、件数が5件と前年同月(13件)を下回り、負債額も14億39百万円と前年同月(46億75百万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所(099-225-7491)